

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科			
科目名称	子ども教育専門ゼミ I					授業形態	授業形態	演習			
科目コード	750114	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○	ICT活 用	○
担当教員名	遠藤 晃								ICT活 用	○	
授業概要	<p>世界的な取り組みとして注目されている「ESD(Education for Sustainable Development: 持続可能な発展のための教育)」は、知識を持つだけでなく多様な知識を関連づけて活用し、ひとり人が主体的且つ協働的に課題を解決していく力の育成を目指している。ESDの視点を持った自然を対象とするテーマ探求型の環境教育は、答えが1つに限らず、解決のプロセスも様々となるため、子ども達に、今求められる「確かな学力」を育む効果が期待される。このゼミナールでは、「なぜ？」をキーワードに、大学や地域の自然環境を対象としたフィールドワークに学生が主体的に取組み、ESDの視点を持った環境教育の指導に必要な調査・研究手法の習得を図る。また、データ解析、文献の引用法、まとめ、プレゼンテーションの方法についても確認する。</p>										
関連する科目	子ども教育専門ゼミII、入門ゼミ、プレゼミ										
授業の進め方 と方法	卒業研究に向けて、テーマに沿ったレジメを担当者が準備し、プレゼンをして、全員で議論をする。										
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション：大学での学び										
授業計画 【第2回】	第2回：課題設定：環境教育の現状と課題調査(1)										
授業計画 【第3回】	第3回：課題設定：環境教育の現状と課題調査(2)										
授業計画 【第4回】	第4回：報告と討論：環境教育の現状と課題について報告(1)										
授業計画 【第5回】	第5回：報告と討論：環境教育の現状と課題について報告(2)										
授業計画 【第6回】	第6回：報告と討論：環境教育の現状と課題について報告(3)										
授業計画 【第7回】	第7回：中間まとめ：これまで学んで来たことを整理して次の学びにつなげる										
授業計画 【第8回】	第8回：各自の問題関心の確認：卒業研究に向けて各自の関心を焦点化する										
授業計画 【第9回】	第9回：各自の問題関心に基づいた課題設定(1)：論文を読み、研究プランを構築する。										
授業計画 【第10回】	第10回：各自の問題関心に基づいた課題設定(2)：論文を読み、研究プランを構築する。										

授業計画【第11回】	第11回：先行研究や基礎文献の収集：担当者が論文を紹介し、ゼミ生で議論する
授業計画【第12回】	第12回：先行研究や基礎文献の整理：担当者が論文を紹介し、ゼミ生で議論する
授業計画【第13回】	第13回：先行研究や基礎文献の整理：担当者が論文を紹介し、ゼミ生で議論する
授業計画【第14回】	第14回：各自の課題に沿った報告と質疑応答：これまでの学びを整理して研究テーマを絞り、研究方法を整理する。
授業計画【第15回】	第15回：卒業研究のテーマ及び研究方法をまとめ、プレゼンテーションをする
授業の到達目標	文献や資料を丁寧に読み、レジュメとして整理し、報告することについて一連の流れを身につける。また、2年次までに身に付けた文献の読み方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方等の力を生かし、事実即して自らの頭で考える力をつける。
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	毎回の講義終了後に、講義内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す(1時間程度)。また、終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしてくる(1時間程度)。課題については担当教員に随時相談すること。
授業時間外学習【復習】	毎回の講義終了後に、講義内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す(1時間程度)。また、終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしてくる(1時間程度)。課題については担当教員に随時相談すること。
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	討論や文献・情報収集への取り組み姿勢・態度およびレポートや報告の内容等で評価する。なお、レポートについては、講義内容をまとめた状態を最低限のレベルとし、理解に基づく活用、さらに応用といった、知識を基にして、様々なことと関連づけて思考・判断したことが表現できているかどうかを評価する。
テキスト	とくに定めず、必要に応じて資料を配布する。
参考書	
備考	